

振

道路ネットワークの拡充は近年の目まぐるしいもので、特に高速道路などを利用することで日本中の主要な都市へは、どこへ行くにも不便のない世の中になってきた。昔に比べ、人と物は格段に短い時間で移動することが可能となり、人々の生活を豊かなものとするとともに、自らの運転で遠くへ行くのを楽しみも増えたのは、国、地方の行政や道路関係各社の不断努力の結果と言える。

技術の進歩や、これまで蓄積してきた知見を活かした施工上の工夫などをすることで、一昔前までは工事開始から開通まで何十年と時間のか

かった時代と比べると建設に要する時間も短くなり、生涯のうちに開通による恩恵を享受できることが多くなった。

このように便利でスピーディーな移動が可能となった一方で、今まで立ち寄れた場所、移動の際の通過地点であった地域に立ち寄ることがなく通り過ぎてしま

一時退出で地域活性化

路からの一時退出が可能となる試みである。

私もそうだが、高速道路を利用する際、途中に立ち寄りたい場所があったとしても、一旦降りることで発生するターミナルチャージ(利用一回当たりの料金)を嫌い通過してしまうことがあるが、この取り組みでは、再進入によるターミナルチャージはかからず、降りずにそのまま利用した場合と同じ料金となる。

主に休憩場所として指定されている道の駅では、道路管理者や特に地元自治体が地域活性化のために構想を練って展開しており、単なる休憩

場所にとどまらず、その地域の文化や名所、特産物などを活用したサービスを受けることが出来る。また、阪神高速では商業施設が利用対象となる「路外パーキングサービス」という名の社会実験も行われている。これらの社会実験は現在、限定的な箇所でのみ実施されているが、種々の社会実験を経て、より多くの場所で一時的退出が可能となれば利用者のみならず地域の活性化にも寄与することとなるのではないかと。

地方都市を元気づけるためにも、点と点をつなぐ移動だけではなく、高速道路でもちょっと休憩がてら、途中で下車をしてみたいか。



齋藤鉄夫国土交通大臣



伊藤渉公明党国土交通部長



萩生田光一自由民主党政務調査会長



遠藤利明自由民主党総務会長



鈴木俊一財務大臣



磯崎仁彦内閣官房副長官



茂木敏充自由民主党幹事長

特別要望活動

令和4年度道路関係第2次補正予算概要

令和4年度第2次補正予算が、12月2日に成立した。

〔令和4年度道路関係補正予算(第2次)配分方針〕

《1. 一般公共事業》

「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」(令和4年10月28日閣議決定)に基づき、

I. 物価高騰・賃上げへの取組

II. 円安を活かした地域の「稼ぐ力」の回復・強化

III. 「新しい資本主義」の加速

IV. 防災・減災、国土強靱化の推進、外交・安全保障環境の変化への対応など、国民の安心・安全の確保

全・安心の確保の四つの柱について、所要の経費が計上された。なお、現下の資材価格の高騰等を踏まえた公共事業等の実施については、各項目を実施するための個々の事業の中で必要な経費を措置している。

配分に当たっては、追加の趣旨を十分踏まえ、以下の事業について、地域の実情や地方公共団体の要望等を勘案しつつ、重点的かつ効果的な配分を行うこととしている。

(1) 物価高騰・賃上げへの取組

○道路施設の省エネルギー化等の推進

○円安を活かした地域の「稼ぐ力」の回復・強化

○生産性向上に資する道路ネットワークの整備等

(2) 防災・減災、国土強靱化の推進、外交・安全保障環境の変化への対応など、国民の安心・安全の確保

○災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策

○道路インフラの局所的な「稼ぐ力」の回復・強化

○円安を生かした地域の「稼ぐ力」の回復・強化

○物価高騰・賃上げへの取組

○道路施設の省エネルギー化等の推進

○円安を生かした地域の「稼ぐ力」の回復・強化

・生産性向上に資する道路ネットワークの整備等

17,614百万円

○防災・減災、国土強靱化の推進

199,077百万円

・災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策

131,098百万円

・道路インフラに係る老朽化対策

80,236百万円

・デジタル技術を活用した道路管理の高度化

131,098百万円

・子供の安全な通行の確保に向けた道路交通環境の整備等の推進

9,800百万円

35,494百万円

令和4年度道路関係補正予算(第2次)配分総括表

区分	直轄事業		補助事業		合計				
	本省配分	一括配分	本省配分	一括配分	本省配分	一括配分			
	計	計	計	計	計	計			
物価高騰・賃上げへの取組	70	4,130	4,200	0	0	70	4,130	4,200	
円安を活かした地域の「稼ぐ力」の回復・強化	13,051	0	13,051	4,563	0	4,563	17,614	17,614	
防災・減災、国土強靱化の推進、外交・安全保障環境への対応など、国民の安心・安全の確保	157,889	56,564	214,453	241,251	0	241,251	399,140	56,564	455,704
防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策	157,889	51,564	209,453	210,757	0	210,757	368,646	51,564	420,210
小計	171,010	60,694	231,704	245,814	0	245,814	416,824	60,694	477,518
国庫債務負担行為(ゼロ国債)	19,629	11,600	31,229	4,977	0	4,977	24,606	11,600	36,206
合計	190,639	72,294	262,933	250,791	0	250,791	441,430	72,294	513,724

(注) 事業費ベース

※ この他に、Ⅲ. 「新しい資本主義」の加速の柱に、調査費やデジタル庁一括計上分、大口・多頻度割引の最大割引率を40%から50%に拡充する措置の延長(令和6年3月まで)を実施するための経費(国費78億円)がある。

※ この他に、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる防災・安全交付金(国費2,853億円)及び社会資本整備総合交付金(国費291億円)等がある。

年末年始期間の高速道路渋滞予測

NEXCO 東日本、NEXCO 中日本、NEXCO 西日本、JB 本四高速、(公財) 日本道路交通情報センターは、年末年始期間(令和4年12月28日(水)~令和5年1月4日(水)の8日間)の高速道路での交通集中による渋滞予測を発表した。

【特に長い渋滞発生予測】

- ◇東北自動車道(下り) / 1月2日(月) 10時頃/羽生PA付近
- ◇東北自動車道(上り) / 1月2日(月) 17時頃/加須IC付近
- ◇東名高速道路(下り) / 12月29日(木) 10時頃/秦野中井IC付近
- ◇東名高速道路(上り) / 1月3日(火) 16時頃/綾瀬SIC付近
- ◇名神高速道路(下り) / 1月2日(月) 16時頃/旧山科BS付近
- ◇名神高速道路(新名神高速道路)(下り) / 1月2日(月) 16時頃/旧山科BS付近
- ◇名神高速道路(上り) / 1月2日(月) 12時頃/大津IC付近

高速道路の主な工事に伴う通行止め・規制情報

【工事通行止め】

◇新名神高速道路 高槻IC~茨木千提寺IC
令和5年1月10日(火)~令和5年1月11日(水) 各日21:00~翌3:00

【リニューアル工事】

- ◇中国自動車道 吹田JCT~中国池田IC
令和5年1月17日(火)1:00~令和5年3月26日(日)5:00
- ◇中国自動車道 宝塚IC~神戸JCT
令和5年1月23日(月)~令和6年度(年末年始・GW・お盆は除く)
- ◇九州自動車道 鳥栖JCT~久留米IC
令和5年1月10日(火)~令和5年4月下旬
令和5年5月上旬~令和5年8月上旬
令和5年8月中旬~令和5年11月30日(木)
- ◇九州自動車道 始良IC~薩摩吉田IC
令和5年1月10日(火)~令和5年4月下旬